

# 脱炭素社会実現に向けた具体的な取り組み

## 家庭部門

### 省エネ家電購入応援キャンペーン実施中!

省エネ家電(エアコン・冷蔵庫)の購入時に2万円の割引を受けられる「ふく割」クーポンを発行します。  
対象者:県内に居住し、キャンペーン対象店舗で省エネ性能★3.0以上かつ税込10万円以上の製品を購入した方



詳しくはこちら

### 省エネ住宅の普及

事業者向けの省エネ住宅技術講習会を開催しています。また、令和6年2月10日(土)にハピテラスにおいて、県民向けの省エネ住宅体験イベントを開催する予定です。

### 家庭でできる身近な省エネ活動を応援します

暖房の節電につながるウォームシェアキャンペーンや照明の節電につながるライトダウンキャンペーンのほか、家庭のライフスタイルに合わせて省エネ対策を提案する「うちエコ診断」など、家庭の省エネを進める取り組みを実施します。



※各キャンペーンの具体的な内容は、随時HPで公開予定

デコ活ふくい

検索

普段の省エネ活動でポイントをゲット! たまったポイントで抽選に応募できます。詳しくはHPをチェック!

## 運輸部門

### 電気自動車等の購入を支援します

電気自動車(EV)、プラグインハイブリッド自動車(PHV)、燃料電池自動車(FCV)を購入する方に補助金を支給します。

補助金額 EV・PHV/10万円 FCV/50万円



詳しくはこちら

※急速充電設備の導入に対する補助金もあります。

### 公共交通や自転車を利用しよう

本県は一世帯当たりのマイカー保有台数が全国1位。県では、過度な車利用を控え、環境への負荷が小さい公共交通や自転車を利用する「カー・セーブ運動」を推進しています。「カー・セーブ運動」に参加すると、毎週金曜日に運賃が最大半額になる特典があります。参加企業・団体は随時募集中。

## 産業・業務部門

### 企業・団体の省エネ活動を応援します

○業種別省エネガイドラインをご活用ください  
お金をかけない省エネの取り組みを中心に掲載。事例では、具体的な削減金額や投資回収年数を示しています(全14業種)。

○省エネの専門家を派遣します  
省エネ対策や再生可能エネルギーの導入などについて、アドバイザー(専門家)を無料で派遣します。

(例)省エネ機器や再生可能エネルギーの導入へのアドバイス  
従業員対象の省エネ研修の実施 など



詳しくはこちら

### カーボンニュートラルに向けて取り組む企業を募集中!

カーボンニュートラル実現に向けて具体的な活動(宣言)する企業・団体を募集します。

【宣言のメリット】

- メーリングリストへの登録可能
- 県ホームページによる企業・団体名の掲載 など



詳しくはこちら

「福井県カーボンニュートラルポータルサイト」  
各種セミナー情報や補助金募集情報などを掲載中



## 知事メッセージ みなさんと一緒に

### 2050年までに温室効果ガス排出実質ゼロを目指します

県民の豊かな暮らしと脱炭素社会の両立を目指し、オールふくいであらゆる取り組みを進めていきます。子どもたちの未来のため、家庭でできる省エネ活動や公共交通の利用など、私たち一人ひとりができることから始めましょう!



知事 杉本 達治

## ふるさと環境フェア2023

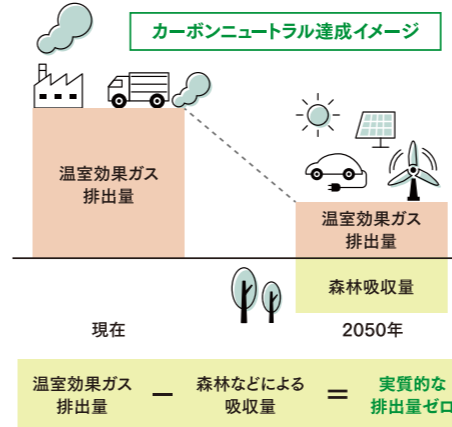
テーマ 未来へつなげるふくいの環(わ)  
～取り組もうSDGs! 目指そうカーボンニュートラル!～

SDGsやカーボンニュートラルについて学べる展示、体験、記念講演などを実施します。



(令和3年11月開催時の様子)

日時/11月23日(木・祝)9時30分～15時  
場所/福井県産業会館(福井市下六条町)  
問/環境ふくい推進協議会事務局(環境政策課)TEL:0776-20-0301



## 特集

福井の美しい環境を次世代に

# 脱炭素社会の実現を目指して

2050年の温室効果ガス排出実質ゼロに向けてみんなで取り組むハビ!



【お問い合わせ】

環境政策課 TEL/0776-20-0301 エネルギー課 TEL/0776-20-0302



令和5年7月の大雨による災害の状況

### 地球温暖化による影響

近年、記録的な猛暑や集中豪雨などの気象災害が全国各地で発生しています。県内でも、今年の夏は猛暑日数が最多を記録。7月には嶺北を中心に大雨が降り、家屋の浸水被害や土砂流出による道路の通行止めが発生するなど、県民生活に影響を及ぼしました。

こうした気象災害は、地球温暖化がその一因といわれています。このまま地球温暖化が進むと、今世紀末には年平均気温が4.4度上昇すると予想されており(出典 気象庁)、災害発生リスクが高まるだけでなく、自然生態系や産業・経済活動へのさらなる影響が懸念されます。

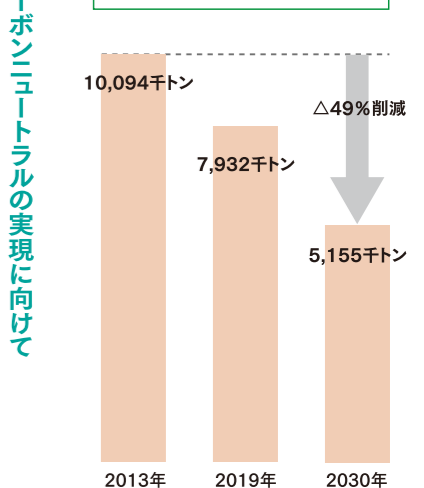
地球温暖化を抑制するためには、温室効果ガスの排出量と森林などによる吸収量を同じにして、温室効果ガスの排出を全体としてゼロにする「カーボンニュートラル」の取り組みが必要です。

県では、令和2年7月に策定した「福井県長期ビジョン」において、国に先駆けて2050年の温室効果ガス排出実質ゼロ(カーボンニュートラル)を目指すことを宣言。今年3月に改訂した「福井県環境基本計画」では、2030年度の温室効果ガス排出量を、2013年度から49%削減することを目標に設定しました。

この目標を達成するためには、あらゆる主体が自分事として脱炭素社会を実現することの必要性を認識し、県民や事業者、行政が一体となった取り組みを着実に実施していく必要があります。県では、家庭、運輸、産業界など、それぞれの部門で削減目標を定め、「エネルギー源の転換(化石燃料から非化石燃料への切り替え)」と「省エネの推進」の2本柱で対策を進めています。

今後は、行政や産業界、学術機関、金融機関などで構成するコンソーシアムを立ち上げ、連携をさらに強化させるほか、県民一人ひとりに脱炭素への理解を深めてもらうため、普及啓発イベントを開催する予定です。

### 福井県の温室効果ガス排出状況



### カーボンニュートラルの実現に向けて